

第21回全日本 農はだてのつどい 2月13日土

会場：胆沢野球場特設会場
胆沢総合支所商工観光課（内線 232）

●行事予定	
15:00	スノーストラックアウト
15:40	縄ないチャンピオン決定戦
16:10	大縄ない
16:30	豊作安全・成功祈願
16:45	大松明点火
16:50	鹿踊りの群舞
17:10	庭田植再現
17:40	大白福餅つき（福餅の振る舞い）
18:15	福引大会
18:45	よさこい披露
19:10	厄年連引継ぎ
19:20	つがい踊り
19:45	福俵引き
19:55	福餅まき
20:00	冬空花火

※参加者・作品の募集（午後2時半から受付開始）
①スノーストラックアウト（小学生以下3人1組・～3時）②大縄ない（先着30人・～4時）③手作り縄（長さ5m以上太さ自由・～4時）



米どころ胆沢を象徴する「農はだてのつどい」。庭田植や大縄ないなど、農家に伝わる年中行事をアレンジしたイベントが盛りだくさん。中でも重さ8トンもの福俵を引く福俵引きは圧巻です。また、こしは静岡県掛川市との姉妹都市提携披露式も行われます（午後6時ごろ予定）。

凍てつく寒さと群集の熱気 奥州に熱い冬到来



1000年以上の歴史を持つ裸の男と炎の祭り「黒石寺蘇民祭」。五穀豊穡、災厄消除を祈願するこの祭りは、古来からの儀式を現在に伝える貴重な民俗文化財です。

※水沢駅・水沢江刺駅と黒石寺を結ぶ臨時バスを運行
※国の重要文化財「薬師如来坐像」「慈覚大師像」を公開
（20日午後3時～5時、21日午前2時～4時）

裸の男と炎のまつり 黒石寺蘇民祭 2月20日土・21日日

会場：黒石寺
水沢総合支所商工観光課（内線 144）

●行事予定	
【20日】	
22:00	裸参り(川で身を清め、掛け声を上げながらお堂を巡る)
23:30	柴燈木登り(火の付いた組み木の上で、男衆が氣勢を上げる)
【21日】	
2:00	別当登り(蘇民袋を持った行列が薬師堂に進み、加持祈禱を行う)
4:00	鬼子登り(子どもを背負った氏子が薬師堂にのぼる)
5:00	蘇民袋争奪戦(取り主を目指し、男衆が蘇民袋を奪い合う)



温風暖房設備やカーテン装置付きの施設（右）



収穫されたナバナやサニーレタス

栽培技術や経営を学ぼう
研修では、自立した農業経営を目指す新規就農者へ、ビニールハウスを使用した園芸技術や経営の指導を行います。今まで、ミニトマト、ナバナ、レタスなどの野菜や、ストック、デルフィニウムなどの花ききの栽培研修を行っています。

※養液隔離土耕システム：土壌から隔離した土に、水と同時に液肥を点滴で与える栽培方法

- 就農希望者を2人募集します
- 対象 次のすべてに該当する市民
 - ①研修後に市内で就農を希望する人
 - ②研修中または研修後に、農業に主体的に取り組む人
 - 募集人数 2人(面接などで選考)
 - 研修期間 22年4月～24年3月(2年間)
 - 研修場所 トレーニング農場(胆沢区若柳字大立目19)
 - 申込期限 2月26日(金)
 - 申し込み方法 申込先に電話で連絡し、指示された必要書類を提出
 - その他 研修に要する経費は研修生の負担になります。研修施設を使用して収穫・販売を行った収益は、研修生に帰属します
- 問い合わせ・申込先 (財)胆沢農業振興公社(胆沢総合支所農林課内線141)

現在の研修生の体験例

- 20年度研修生(2年目) …水沢区・50代夫婦
 - 施設 高規格ビニールハウス270平方m×2棟
 - 品目 1年目：ミニトマト(春～秋)・ナバナ(冬)
2年目：ミニトマト(春～秋)・オータムポエム・サニーレタス・ホウレンソウ(冬)
 - ◇コメント あちこち探して、知人の紹介でたどり着いた研修先でした。土の配合や植え方、薬の使い方など、細やかに指導を受けました。1年目は、ナバナの葉を全部摘んでしまい、その後の収穫ができない失敗などもありました。独り立ちには不安ですが、来年からの営農を計画しているところです
- 21年度研修生(1年目) …水沢区・30代男性
 - 施設 高規格ビニールハウス270平方m×1棟、簡易ビニールハウス217平方m×1棟
 - 品目 1年目：ミニトマト(春～秋)・ナバナ・オータムポエム(冬)
 - ◇コメント 市の広報を見て応募したまったくの初心者です。夏のハウス内部の暑さはかなり厳しく大変でした。ナバナ栽培への切り替えが遅れたため、無収入期間を増やしてしまいました。でも、まずやってみることが大事では。来年は収量アップを目指します。



平成22年度 トレーニング農場 研修生募集

市とJA岩手ふるさとが運営する(財)胆沢農業振興公社では、平成22年度のトレーニング農場研修生を募集します。同公社やJA岩手ふるさとの職員、県農業普及員などの指導により、※養液隔離土耕システムを使った園芸研修が受けられます。